

木更津工業高等専門学校	開講年度	平成28年度(2016年度)	授業科目	英文法 I
科目基礎情報				
科目番号	0014	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	環境都市工学科	対象学年	1	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	『Zoom 23 Lessons English Grammar』第一学習社 520円(税別)			
担当教員	荒木 英彦			
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・各章の基本文法を理解し、身につける。 ・各章の英文法を活用して簡単な英文が書けるようになるための英作文能力を身につける。 ・各章の英文に用いられている会話でよく用いられる基本表現を理解し、身につける。 				
ルーブリック				
評価項目1	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
	日常生活や身近な話題に関して易しい英文から、その概要や必要な情報を十分に理解できる。	日常生活や身近な話題に関して易しい英文から、その概要や必要な情報を大体理解できる。	日常生活や身近な話題に関して易しい英文から、その概要や必要な情報を理解できない。	
評価項目2	日常生活や身近な話題に関して、まとまりのあるある程度の長さの英文を書くことができる。	日常生活や身近な話題に関して、まとまりのある英文を書くことができる。	日常生活や身近な話題に関して、まとまりのある英文を書くことができない。	
評価項目3	日常生活や身近な話題に関してゆっくりと話されれば、その内容を正しく理解することができる。	日常生活や身近な話題に関してゆっくりと話されれば、その内容を大体理解することができる。	日常生活や身近な話題に関してゆっくりと話されても、その内容を理解することができない。	
学科の到達目標項目との関係				
準学士課程 3(2)				
教育方法等				
概要	中学校で学習した英文法、英単語・熟語を復習し、身につけておくことが肝要である。授業中の課題をきちんとこなすことで実力がつく。2年次までの他の英語科の学習と合わせて、英検準2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。			
授業の進め方・方法	1時間で1レッスン行う。 教科書の例文とその応用、練習問題により英文法を身につける。 毎時間、教科書の例文及びCOCET2600の単語の小テストを行う。			
注意点	評価については試験(中間・期末) 80%、小テスト・課題 20%とする。 不明な点は隨時質問すること。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1週	授業の目標と学習方法のガイダンス	授業の目標と学習方法について理解する。	
	2週	Lesson1	be動詞の文、一般動詞の文、疑問文を理解する。	
	3週	Lesson2	疑問詞付疑問文、付加疑問文、命令文、感嘆文を理解する。	
	4週	Lesson3	第1～第3文型の文を理解する。	
	5週	Lesson4	第4、第5文型の文を理解する。	
	6週	Lesson5	現在形、過去形の文を理解する。	
	7週	まとめと復習	中間テストの範囲の学習事項のまとめと復習	
	8週	中間試験		
後期	9週	中間テスト返却	中間テストの範囲の学習事項において理解が不十分なところの確認	
	10週	Lesson6	未来形の文を理解する。	
	11週	Lesson7	現在完了形の文を理解する。	
	12週	Lesson8	過去完了形の文を理解する。	
	13週	Lesson9	助動詞を用いた文を理解する。	
	14週	Lesson10	助動詞を用いた文を理解する。	
	15週	Lesson11	受動態の文を理解する。	
	16週	定期試験		
後期	1週	Lesson12	受動態の文を理解する。	
	2週	Lesson13	不定詞を用いた文を理解する。	
	3週	Lesson14	不定詞を用いた文を理解する。	
	4週	Lesson15	不定詞を用いた文を理解する。	
	5週	Lesson16	動名詞を用いた文を理解する。	
	6週	Lesson17	分詞を用いた文を理解する。	
	7週	まとめと復習	中間テストの範囲の学習事項のまとめと復習	
	8週	中間試験		
4thQ	9週	中間テスト返却	中間テストの範囲の学習事項において理解が不十分なところの確認	
	10週	Lesson18	分詞を用いた文を理解する。	
	11週	Lesson19	比較表現の文を理解する。	
	12週	Lesson20	比較表現の文を理解する。	
	13週	Lesson21	関係詞を用いた文を理解する。	

		14週	Lesson22	関係詞を用いた文を理解する。			
		15週	Lesson23	仮定法を用いた文を理解する。			
		16週	定期試験				

評価割合

	試験	小テスト・課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0